

管内の出穂期は平年より8日早まり高温が続いております。 ＜適期落水・適期刈取を計画し、良質米づくりを徹底しましょう。＞

管内の「ひとめぼれ」は早い所で7月25日頃から出穂に入り、8月初旬には穂揃期に入りましたが、連日の猛暑と雨不足により登熟不良などの品質低下が懸念されております。

向こう1か月の天候も気温が平年より高く、降水量も少ない状態が続く見込みですが圃場を巡回して水管理の徹底と早期落水を行わないようにして下さい。

また、大豆についても、開花期が早まり高温・小雨による圃場の干ばつ状態が心配されておりますので、暗渠排水を閉めたり、明渠を利用した通水など対策をしましょう。

◎宮城県内の出穂状況(8月4日発表)

(1) 地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付見込面積(ha)	8月3日現在出穂状況		進行月日			(参考) 平成26年度		
		出穂面積(ha)	進行率(%)	出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期
大河原	6,795	5,705	84.0	7/25	7/29	—	7/30	8/2	8/8
仙台	12,320	9,673	78.5	7/26	7/30	—	7/30	8/4	8/9
大崎	18,285	16,818	92.0	7/25	7/29	—	7/29	8/1	8/5
栗原	8,998	7,805	86.7	7/26	7/28	—	8/1	8/3	8/7
登米	9,887	9,112	92.2	7/28	7/30	—	7/30	8/1	8/6
石巻	7,449	6,870	92.2	7/25	7/25	—	7/29	7/31	8/6
気仙沼	928	600	64.7	7/29	8/2	—	8/2	8/5	8/9
県計	64,662	56,583	87.5	7/26	7/29	—	7/30	8/2	8/8

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稻作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日である。

《環境保全米栽培の栽培実施記録書の提出について》

現在、環境保全米栽培の現地確認調査を実施し、圃場の最終確認をしております。栽培実施記録書の提出記録期日は「**8月25日**」までとなりますので、記載内容を全て再確認して提出をお願いいたします。(米検査前に確定して参ります。)

※また、現地確認や記録書の確認ができない場合は、「JA米」として検査して頂きます。

尚、JA米へ変更した圃場については、必ず「JA米栽培履歴記録簿」の確認を受けるようになります。

《JA米栽培履歴記録簿の確認について》

8月3日～8日までJA米栽培履歴記録簿の確認会を行いました。未だ確認を受けてない生産者が見受けられます。

JAで必ず**8月21日まで**確認を受けるようにしてください。

※確認を受けない場合は「JA米」⇒「一般米」の買入となります!



◎登熟期間の高温による品質低下が懸念されております。

出穂が早まり既に登熟時期に入りましたが、高温による稲体の消耗により登熟不良(白未熟粒や整粒不足)による品質低下が懸念されております。

高温が続きますので登熟期間中はできる限りのかけ流しかんがいを行いましょう。

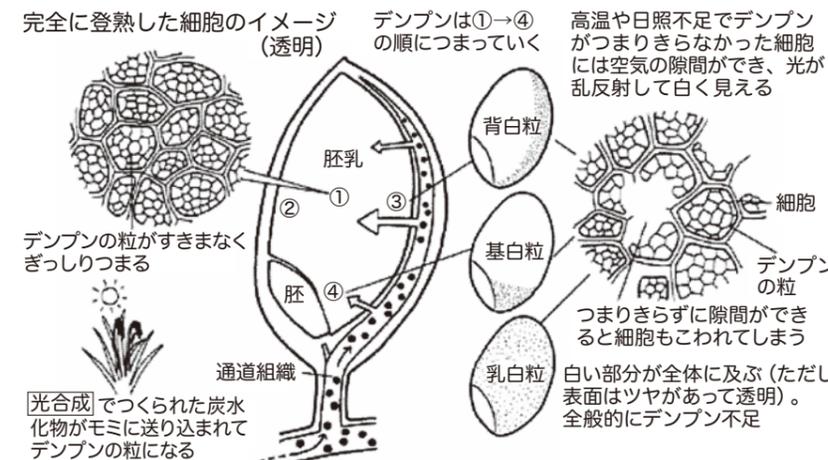
◎落水時期の目安について ※早期落水は整粒歩合が低下する場合があります。

収穫時期が早まる見込みですが、落水は出穂後30日を目安として行いましょう。

また、排水条件の悪い水田は時期を見てやや早めの落水を行いましょう。

乳白米(にゅうはくまい)

乳白米などシラタ(白未熟粒)が発生するしくみ



受精したモミはまず細胞分裂し、細胞ごとにデンプンがたまります。

この時期に高温や日照不足などの強い影響を受けると、デンプンが詰まりきらないうちに登熟が終了してしまう。

白く見える粒を乳白米と呼び、出穂後10～20日後頃の高温で発生しやすい。

直接の原因は気象条件だが、活力の落ちたイネほど発生しやすい。

＜お知らせ＞

収穫時期の営農センター休日営業について

収穫時期の農繁期対応について、営農センター(農業機械課・購買課)の業務につきましては、下記の通り営業致しますのでご利用下さい。

営業日・営業時間 午前8時30分～午後5時15分まで(営農センターのみ営業)

9月12日(土曜日)	9月22日(火曜日・祝)	10月4日(日曜日)
9月13日(日曜日)	9月23日(水曜日・祝)	10月10日(土曜日)
9月19日(土曜日)	9月26日(土曜日)	10月11日(日曜日)
9月20日(日曜日)	9月27日(日曜日)	10月12日(月曜日・祝)
9月21日(月曜日・祝)	10月3日(土曜日)	

◎適期刈取りは圃場を一巡し、稲穂の黄化割合を確認して刈取りを!!

《出穂後の積算温度》 刈取適期は約10日間

- ひとめぼれ 早限 → 930～ 940℃ (穂の黄化割合 約70%)
 - 適期 → 1,000～1,050℃ (穂の黄化割合 約85%)
- 晩期 → 1,170℃前後 (穂の黄化割合 約95%)
- ササニシキ 適期 → 1,000～1,060℃ (穂の黄化割合 約85%)
- つや姫 適期 → 1,000℃目安 (早いと青未熟粒が多く、遅れると着色米になる場合あり)

本年参考 (田植が早い水田)		平 年	
出穂始期 (5%)	7月25～27日頃	出穂始期(5%)	8月3～4日頃
出穂期 (50%)	7月28～31日頃	出穂期(50%)	8月7～8日頃
穂揃期 (95%)	8月1～3日頃	穂揃期(95%)	8月10～13日頃

出穂期7月29日を基準とした場合に、今後の天候が順調であれば「9月6～8日頃」に刈取早限～適期になる予想です。

【平年の出穂と気温であれば、出穂期後40～45日頃に積算温度で1,000℃前後となります。】

◎台風等の対策について

台風シーズンですが近年はゲリラ豪雨も発生しております。特に台風の通過が予想される場合は早めに対策を行いましょう。

- 稲が冠水して水没した場合は、速やかに排水を行うこと。
 - 台風通過後は、フェーン現象による脱水状態となる場合があるのでゆっくり排水する。
- ※台風前後は湛水状態にすることで、乾燥風の影響で「白穂」の発生を予防できます。

《平成27年産米の放射性物質検査について》

宮城県は、本年も国の基準により放射性物質検査を実施して安全が確認されるまで出荷制限されることとなります。

また、検査点数については、宮城県より旧市町村単位で下表のとおり示されておりますのでお知らせ致します。

尚、後日に県普及センター、市、JAでサンプル採取計画等について、収穫が早い地区の代表の方へ依頼することになりますので、ご協力をお願い申し上げます。

名取市	検査計画 6点 (増田町、閑上町、下増田村、館腰村、愛島村、高館村より各1点 予定)
岩沼市	検査計画 6点 (岩沼町、玉浦村より各1点・千貫村より4点 予定)

※JAでは、放射性物質検査が完了して「出荷制限」が解除となり次第、米の買入検査をする予定です。

◎刈取適期の目安

籾の黄変程度

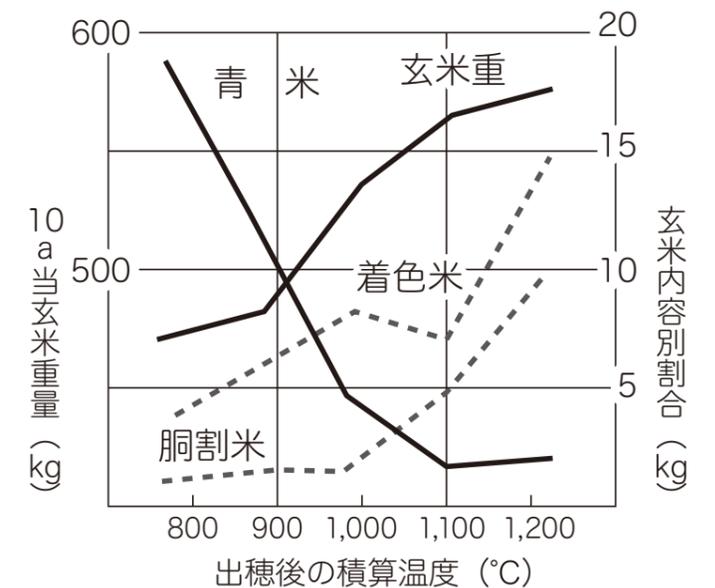
「全もみの90%が黄色になっている。」

「籾の水分23%以下」

「基部に緑色のもみが若干残っている。」



積算温度による品質の変化



※高温登熟の場合、籾の充実が悪くなり『乳白米』『胴割米』等の発生が懸念されます。